

株式会社 大塔テック

2023 年度 環境経営レポート

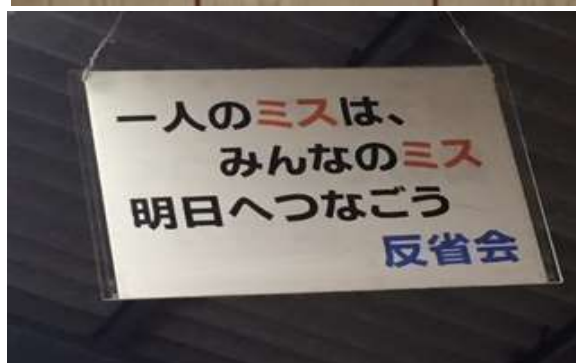
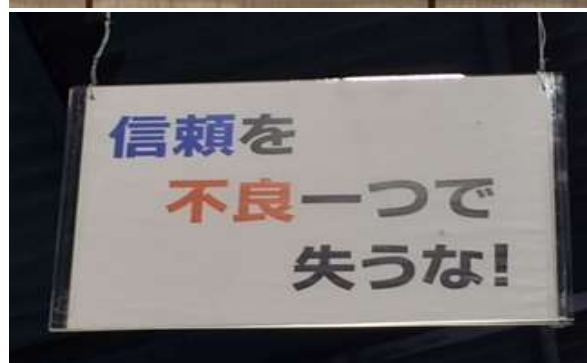
(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



作成日: 2024年7月17日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	7
緊急事態対応訓練	7
代表者による全体の評価と見直し・指示	8



□ごあいさつ

エコアクション21に取り組むことによって、従業員の意思疎通がはかれ、不良率軽減、生産性向上がはかれます。

この機会に社内の取り組みを重点的にやっていきたいと思いをします。

株式会社 大塔テック
代表取締役社長 芋谷公久

環境経営方針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
(製造工程及び事務所で電気使用、営業車・運搬車での燃料使用)
3. 製造工程における廃棄物の削減に努めます。
(製造工程で発生する廃棄物の排出)
4. 水使用量の削減に努めます。
(事務所水道水、製造工程での)
5. 化学物質の適正管理に努めます。
(脱油用の溶剤)
6. 環境に配慮した外注加工に努めます。
(材料の調達)
7. 環境にやさしいセラミック塗装に努めます。
(環境に配慮した製品)
8. 地域ボランティア活動の積極的な参加
(会社周辺清掃活動)
9. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：2020年6月30日

株式会社 大塔テック
代表取締役社長 芋谷公久

□組織の概要

更新日：2023年5月10日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 大塔テック
代表取締役社長 芋谷 公久
- (2) 所在地
本社・工場 大阪府貝塚市王子1224

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役社長 芋谷 公久 TEL:072-439-5162
担当者 製造部 井上 典弘 TEL:072-439-5162
- (4) 事業内容
ホース継手及び機械部品の製造・販売

- (5) 事業の規模
売上高 17,119 万円
本社・工場
- | | | |
|-------|----------------|--------------------|
| 従業員 | 名 | 13 名 |
| 延べ床面積 | m ² | 900 m ² |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

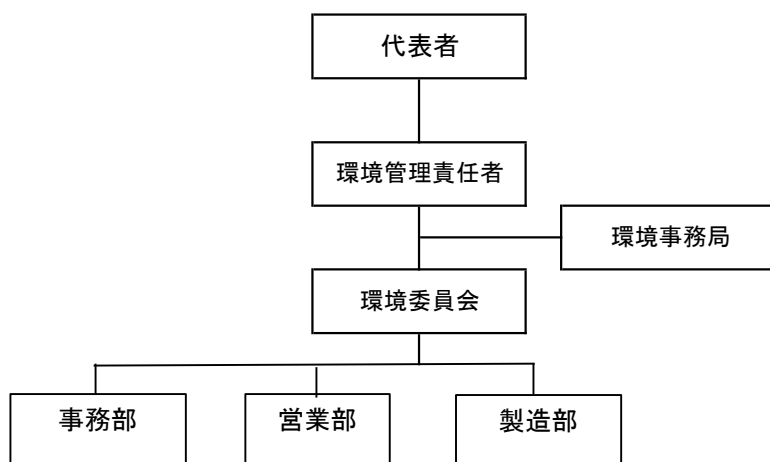
登録組織名： 株式会社 大塔テック
対象事業所： 本社・工場
対象外： なし
活動： ホース継手及び機械部品の製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

<主な事業の紹介>

当社はホース用継手及び、機械部品、タンクローリー金具など継手を製造販売している。





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	34,657	36,794	34,803
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0	0	0.56
産業廃棄物排出量	トン	2.07	2.85	2.63
総排水量	m ³	85	82	82

※二酸化炭素排出係数 0.351 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後排出係数(R4年2月公表値/R2年度実績)

□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
				(4月—3月)				
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	28,423	27,854	28,867	×	27,570	27,286	
	基準年度比	2021年	98%	102%		97%	96%	
自動車燃料による二酸化炭素削減 (ガソリン)	kg-CO2	6,234	6,109	5,936	○	6,047	5,984	
	基準年度比	2021年	98%	95%		97%	96%	
二酸化炭素排出量合計 ※1	kg-CO2	34,657	33,964	34,803	×	33,617	33,270	
コピー用紙の削減	枚	12,273	12,028	12,799	×	11,905	11,782	
	基準年度比	2021年	98%	104%		97%	96%	
水道水の削減	m ³	85	83	82	○	82	82	
	基準年度比	2021年	98%	96%		97%	96%	
不良率の削減	前年実績以下(件)	2017年	5件以下	0	○	5件以下	5件以下	

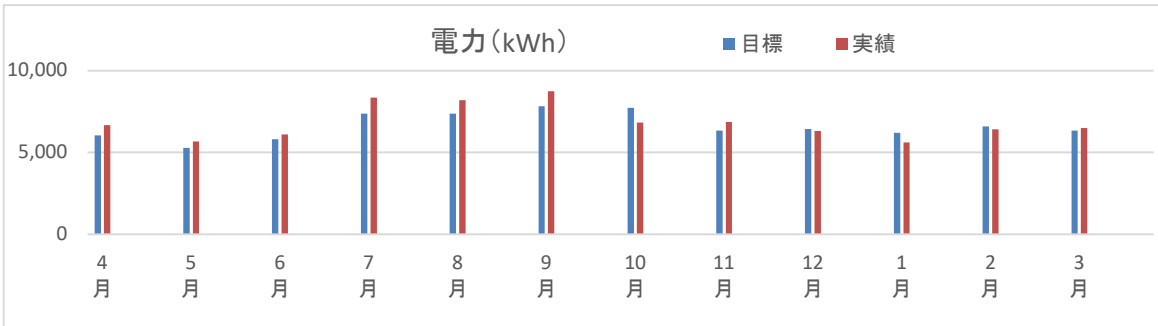
※1化学物質の使用は微量のため、適正管理をしています。(2023年度は使用実績なし)

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

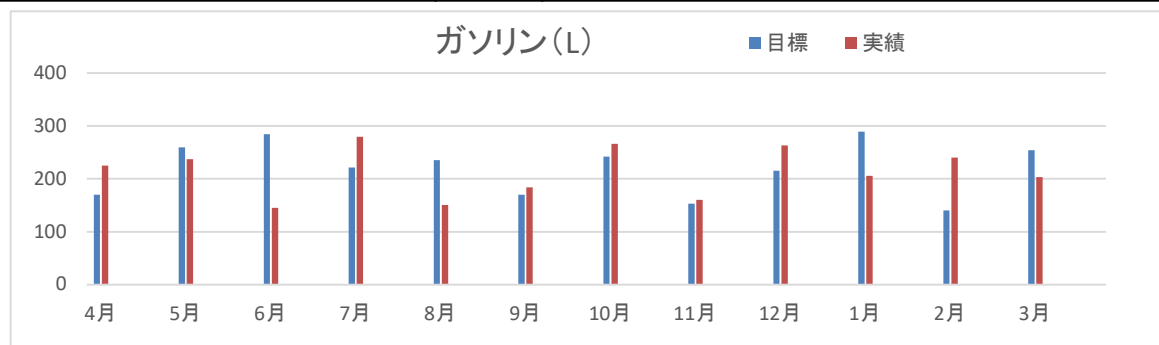
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	受注が増えたことにより、必然と機械の稼働時間が増え、電力使用量が増加しています。また、気温の上昇によるエアコン使用量の増加も原因と考えられます。今後も増加が予想されるため、現場の屋根に断熱工事を実施する予定にしています。
・空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃)	○	
・休憩や不要時の照明の消灯	○	
・節電啓発表示	○	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・設備機器の点検	○	



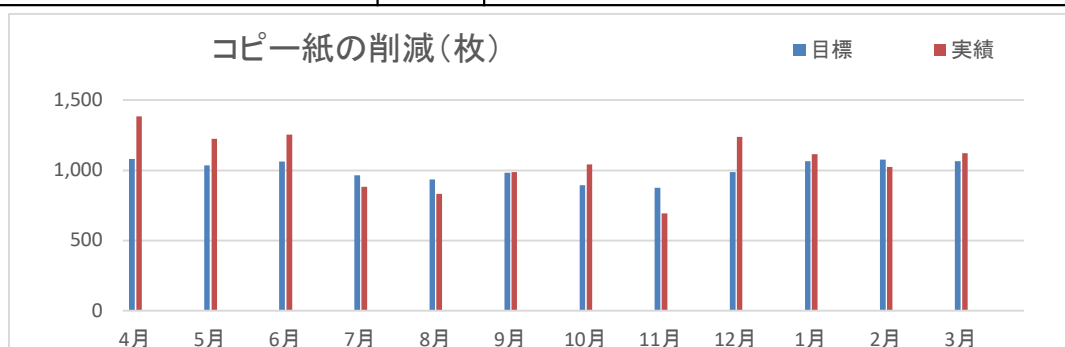
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	6,053	5,286	5,820	7,364	7,376	7,824	7,719	6,347	6,427	6,207	6,589	6,344
実績	6,662	5,672	6,101	8,341	8,186	8,734	6,822	6,881	6,328	5,623	6,414	6,478

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	トラック等の配達・引取りを集約して使用した為、目標を達成することが出来た。
・エコドライブ実施	○	
・効率的なルートで配送	△	



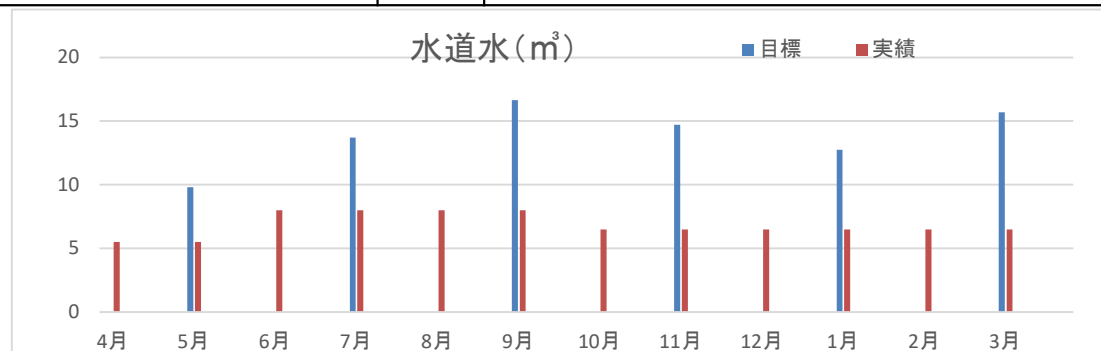
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	170	260	284	221	235	170	242	153	216	289	140	254
実績	225	237	145	279	151	184	266	160	263	206	240	203

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	今後の課題としては、サーバーを利用し、請求書を出さなくても管理出来るようなシステムかを進めていかなければならないと考えています。 現状、現場のミスを減らすために図面を流しているが、何かこれもサーバー内のデータやホワイトボード、タブレット等を利用して図面レスを目指していく取り組みについても2～3年の内に進めていきたいと考えています。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・古紙回収業者に引き取り	△	
・裏紙使用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	1,081	1,035	1,063	964	935	984	895	876	988	1,065	1,076	1,065
実績	1,385	1,225	1,253	882	833	986	1,043	695	1,238	1,115	1,023	1,122

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	天候が猛暑が続いた為、衣類の洗濯や、夏場に飲むお茶や水などに使用した分が少し増えましたが、例年通りです。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	0	10	0	14	0	17	0	15	0	13	0	16
実績	6	5.5	8.0	8.0	8.0	8.0	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5

不良率の削減	達成状況	取組結果とその評価
・不良率実績把握	○	不良率削減のために、是正処置の実施、QC活動、5S徹底、失敗事例のデータ化を行う。
・QC活動の実施	○	
・5S活動の徹底	○	

その他の取り組み

・廃棄物削減については、一廃は少量でもあり、紙ごみがほとんどで、コピー紙の使用量削減が廃棄量削減にもつながると考え取り組んだ。また、産廃は、工場で発生する排出物の分別を徹底した。金属スクラップも鉄、ステン、アルミ等に分別し有価で売却、その他も社内で再使用、再利用に努め、産廃処理は数年に一度の発生で収めるよう徹底している。

・廃液も数年に1ドラム程度である。

・セラミック塗装については、耐久性、耐熱性がよく、溶剤も使用しないことから、環境負荷も少なく、今後有効に活用したい。

・部品の外注については、当社が環境マネジメントシステムの運用をしていることから、サプライヤーに対しても環境への配慮を要請している。

一方、地域では、貝塚市主催の総合防災訓練に参加したり、王子新田町内会の避難訓練・炊き出しに参加したり、積極的に地域との共生を図っている。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃油等)
騒音規制法	空気圧縮機(届出非該当)
振動規制法	空気圧縮機(届出非該当)
消防法(危険物)	消火器の設置・点検、危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・スポットクーラー・コンプレッサードライヤー等の簡易点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 防災訓練	
■実施日： 2023年11月19日	■実施内容：
■参加者： 芋谷 他3名	火災訓練、避難訓練、炊き出しの実施
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
手順書通り、実施出来た。 数年ぶりに合同訓練を実施し、対応を再確認、理解を深めることが出来た。	
■実施状況の様子 貝塚市主催 避難訓練 町会内の緊急合同訓練を行った。	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月17日

【前回の指示への取組結果】		
全員活動の推進中。		
＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 ・エネルギーコストの上昇。 ・材料費の高騰 ・大手取引先からの環境経営システム認証の要望		◇環境経営方針 変更なし
◇環境経営目標・経営計画の達成状況 ・電気の使用：未達成 ・ガソリンの使用：達成 ・コピー用紙の削減：未達成 ・水の使用：達成 ・不良率の削減		◇環境経営目標・環境経営計画 昨年度に比べ、業務量が14%上昇しています。 基準年度を2022年度より、2021年度に変更して推移を見ているが、今年は更に業績向上した為、今後どうなるかは売上の見込みはたっていませんが、今は順調に推移している為、環境を踏まえつつ成長していきたいし、結果として数字であられることを期待しています。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等はなし		◇その他 ・実施体制：変更無し
【今回の評価結果と今後の経営視点】		
火災訓練・避難訓練 地域との防災訓練を実施しました。		
職場環境の改善が、環境をよくすること、という意識を持った従業員を増やす指導を行い続け、今後の売上UPにもつなげていきたい。		
実施者： 芋谷 公久		